

組合員・家族、雪山へ結集!



国鉄動力千葉

80.13

No. 33

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
電話二二五八一九(公衆電話三三二七二〇七)

回スキー大会成功裡に終了! 54名が技を競い、勝浦支部が優勝!

第1回動労千葉サークル協主催スキー講習会、大会は、1月23日
25日長野県菅平スキー場において、昨年を上廻る54名の組合員、
家族が結集し盛大に開催された。

△第1日目▽ 紺碧の空の
下、54名で開講式

紺碧の空とキラキラ輝く雪がよく調和された天狗山ゲレンデに揚げられた鉄輪旗のもとに服装鮮やかな組合員、家族が全員集合し、窪岡指導員の司会により開講式が行われた。大岩スポ連副会長の開講宣言、続いて本部を代表して関執行委員から「動労『本部』反動集団の攻撃を固い団結で完全にうちくदैて晴れてこの地でこのように多くの組合員、家族がスキーを楽しむことを、共によろこびたい。職場では、いよいよ35万人体制攻撃、80春闘の闘い」との挨拶を受け、準備運動の後、各班に分かれ講習会に入っていくた。

△第3日目▽ 雪煙けたてて、大回転を競う

零下10度という菅平特有の寒さの中、9時20分より今大会のメインレースである大回転競技が行われた。全長五〇〇m、最大斜度30度のコースを各選手の技術に応じて楽しめるように、スタート地点を順次下げ、3クラスに分け行われた。千葉支部の猿田選手の力強い選手宣誓ののち、闘いの火ぶたが切られ、各選手とも存分に実力を発揮し転倒者も少なく全員が完走した。特に第3部では、始めてスキーをはく人が殆どであったが、全員完走の奮闘ぶりを見せた。11時20分より金城館において閉会式を行い、動労千葉指導員、旅館の献身的協力、そして沢山の賞品を提共してくれた富士スポーツに感謝しながら、現場生産点で共に闘うことを誓い「団結ガンバロー」をもって13時大成功のうちに終了した。

人体制攻撃、80春闘の闘い」との挨拶を受け、準備運動の後、各班に分かれ講習会に入っていくた。

△第2日目▽ 雪上では支部対抗、
夜は自慢ののどを競う

粉雪の舞う中、各班に分かれゲレンデでめぐり、大自然の景観とスキーの醍醐味を心ゆくまで楽しんだ。

14時より、「支部対抗回転競技」にうつった。この競技は、支部対抗だけに競争意識は激しく各選手におくられる声援は、われんばかりに雪山に轟いた。結果的に勝浦支部が圧倒的強さを発揮し勝利の栄冠に輝いた。夜は、おまぢかねの和気合の「交流会」。各支部から自慢ののどを出し合の拍手と爆笑の渦の中に時の過ぎるのを忘れ、全体が一つになってアフタースキーを楽しんだ。また交流会の真最中に「窪岡指導員に長男誕生ノ」の長距離電話が入るや、全員から拍手と大歓声のお祝いが始まる一幕も加わり、まさに動労千葉ならではのすばらしい交流会となった。

成績

- △支部対抗(回転競技)▽
 - 優勝 勝浦支部
 - 準優勝 千葉転支部
 - 第3位 成田支部
- △第1部大回転▽
 - 優勝 吉野 洋(勝浦支部)
 - 準優勝 米元和雄(勝浦支部)
 - 第3位 杉田利男(千葉転支部)
- △第2部大回転▽
 - 優勝 君塚作治(勝浦支部)
 - 準優勝 神林邦章(千葉転支部)
 - 第3位 小高治夫(成田支部)
- △第3部大回転▽
 - 優勝 木戸一郎(千葉転支部)
 - 準優勝 岩崎喜充(新小岩支部)
 - 第3位 高寺由雄(勝浦支部)